

虫の声を楽しみながら“聞こえにくさ”に気づきを与える
『よるの むしのね ずかん』を制作
刊行を記念して冊子をプレゼント



メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売、その他関連商品の販売を行う株式会社メガネトップ（所在地：静岡県静岡市、代表取締役社長：冨澤昌宏）は、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能を利用し、虫の鳴き声を楽しみながら自身の“聞こえにくさ”に気づきを与えることができる冊子『よるの むしのね ずかん』を凸版印刷株式会社と共同で制作しました。刊行を記念し、30名の方に冊子をプレゼント致します。

【よるの むしのね ずかんの特徴】

① 夜の虫を探しながら“楽しむ”仕掛け

各ページにはQRコードと特殊インクで印刷された「虫の姿」が隠されています。

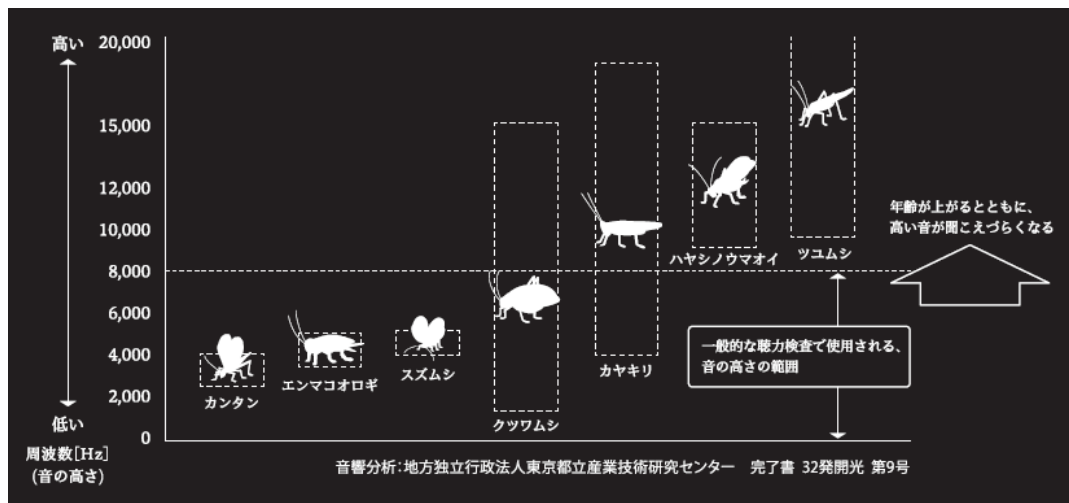
QRコードをスマートフォンなどのカメラ機能で読み込むと「虫の声」が再生され、次ページをフラッシュ撮影すると、撮影画面に「虫の姿と名称」が浮かび上がります。

「虫の声」は、弊社コーポレートサイト特設ページでも聴くことができます。



② 7種類の「虫の声」と音の高さのしくみ

冊子の中には全7種類の「虫の声と姿」が、音の高さが低いものから順に収録されています。これは、加齢による聞こえ方の低下が、一般的に周波数の高い音から聴こえづらくなると言われているためです。ページが進むにつれ高い音になる「虫の声」を簡易的な聴き取りチェックとして使用しています。



【冊子プレゼント 応募要項】

- ・ 応募人数：30名（応募多数の場合は抽選となります）
- ・ 応募期間：2020年10月30日（金）～11月20日（金）
- ・ 応募条件：当選後、冊子を体験いただき、アンケートにご回答いただけること
※ご回答いただいた内容は、個人を特定する情報を伏せた上、弊社ホームページでレポートとして公開する可能性があります
- ・ 応募方法：下記必須事項を記入の上、メールにてご応募下さい

mushi-c@meganetop.co.jp

※必須事項※

①住所（お届け先）②氏名 ③年齢 ④応募動機（冊子を欲しいと思った理由）

※詳しくは特設サイトをご確認下さい (<https://www.meganetop.co.jp/mushinone>)

虫の声が聴こえにくいのは、もしかすると…

日常で聴こえる周波数の高い音としては、体温計のアラームや電子レンジの音などの電子音が代表的です。テレビや会話のように継続して聴くことが少ない音のため、「聴こえない」ことを「聴き逃した」と考えがちになります。この「聴こえていないことに気づかない」状態は、加齢による「聞こえ方の低下」かもしれません。『よるの むしのね ずかん』を読み進めるにつれ、「周りの人には聴こえるのに自分には聴こえない」という状況が発生することで、聞こえにくい音があることに気づくことができます。

ご家族で、ご自身で『よるの むしのね ずかん』をご利用いただくことで、普段の生活で聴こえにくい時はないだろうか、本当に困っていないのかと気づき、考えるきっかけとなります。

「難聴」と「認知症」の関係

新オレンジプラン（2015年認知症施策推進総合戦略として政府策定）では改めて注目されたことがあります。それは認知症の危険因子として加齢、遺伝性のも、高血圧、糖尿病、喫煙等と共に「難聴」が加わったのです。「難聴」とはいわゆる「聞こえにくくなる」ことです。

「聞こえにくい」をそのままにした場合、考えられるのがコミュニケーションの減少です。その結果、人間関係の悪化であったり、外出が減ってしまったりと「コミュニケーションの減少」を招く悪循環がうまれてしまうのです。

現在様々な国や機関で研究が行われている段階ですが、聞こえてくる音（聴覚刺激）やコミュニケーションなど外からの情報が入ってこない、会話が少ないという状態が長く続くと精神活動が抑えられてしまうため、認知症やうつにつながる可能性が示唆されています。（WIDEX株式会社 「聞こえにくいを理解して、明日の健康寿命に活かす本」より抜粋）

聞こえにくさの程度や発症する年齢には個人差がありますが、難聴によって引き起こされる不利益は、決して高齢者だけの問題ではありません。そのため、子供から大人まで広い世代に「聴こえ」に対する意識を高めてもらう必要があります。

今後も当社では、関わる皆の幸せを実現するため、社会へさまざまな「気づき」を与え、新しい価値観を創生する企業活動に取り組んでまいります。

【概要】

■冊子名：『よるの むしのね ずかん』

■仕様：縦15センチ×横20センチ 中綴じ全20ページ

※専用アプリ等は必要ありません。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

▼QRコードサンプル

スズムシの声が聴こえます。



<https://www.meganetop.co.jp/mushinone/03/>

【会社概要】

社名	株式会社メガネトップ
所在地	静岡市葵区伝馬町8番地の6 トップセンタービル8F
代表者	代表取締役社長 富澤昌宏
設立年月日	1980年5月
資本金	100百万円（2020年3月末時点）
事業内容	メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売、その他関連商品の販売
店舗数	国内998店舗（メガネトップグループ合計）、海外14店舗（2020年9月末時点）
従業員数	4,694人（2020年9月末時点）
ウェブサイト	https://www.meganetop.co.jp/
お客様からのお問合せ先	株式会社メガネトップ お客様相談室 フリーコール：0120-818-828（受付時間9:00～18:00）

「眼鏡市場」「ALOOK（アルク）」「レンズスタイル」は当社のグループ店舗です。

<本件に関する報道関係者からの問い合わせ先>

メガネトップ広報事務局 担当：小林（携帯：080-3498-2239）

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 E-mail：pr@netamoto.co.jp